

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 ブロードメディア株式会社

コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加納 彰

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-6439-3725

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	9,100	—	△435	—	△753	—	△496	—
20年3月期第3四半期	10,223	44.5	279	△61.5	226	△66.5	△9	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第3四半期	△9.08		—	
20年3月期第3四半期	△0.26		—	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第3四半期	9,835		6,074		57.4	84.56		
20年3月期	11,893		3,840		18.1	61.03		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,642百万円 20年3月期 2,149百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において毎年3月31日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」欄参照)

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	12,000	△13.4	△350	—	△800	—	△650 ～0	—	△11.27 ～0.00	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社(社名 株式会社アリスネット、ラテンドラマ共同事業体) 除外 4社(社名 Gクラスター・グローバル株式会社、G-cluster America, Inc., Oy Gamecluster Ltd., 株式会社アリスネット)

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 66,724,453株 20年3月期 35,212,153株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 937株 20年3月期 783株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 54,688,243株 20年3月期第3四半期 35,211,120株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成20年10月30日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年1月30日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

3. 現時点では期末配当を行うかどうかについては未定です。詳細につきましては平成20年10月31日発表の「平成21年3月期(第13期)配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

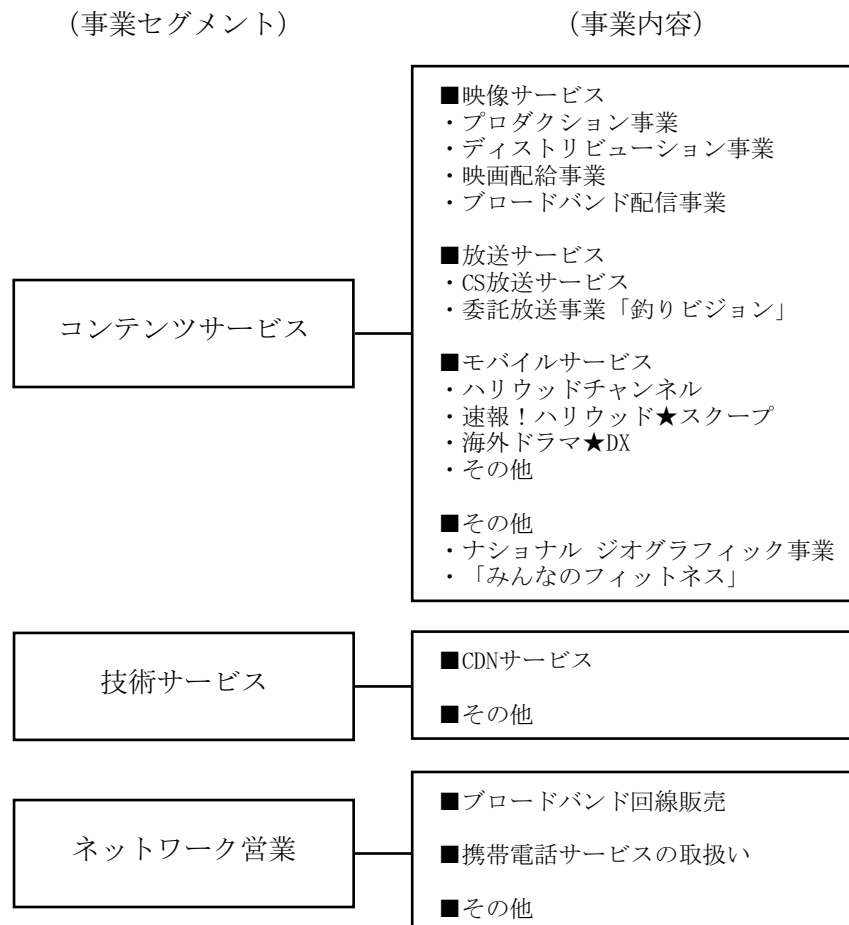
売上高は、当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）において、前年同期と比べ1,123,357千円（11.0%）減少し、9,100,390千円となりました。また、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日～平成20年12月31日）においては、2,815,430千円となりました。減収は、主にネットワーク営業部門における売上高が減少したことによるものです。

営業損益は、当第3四半期連結累計期間において、前年同期と比べ714,837千円減少し、435,297千円の営業損失となりました。当第3四半期連結会計期間よりGクラスタ・グローバル株式会社（以下、GCG社）並びに同社の子会社であるG-cluster America, Inc.（以下、GCA社）及びOy Gamecluster Ltd.（以下、GCF社）が連結子会社でなくなりましたが、第2四半期連結会計期間末までにこれらの各社において発生した営業損失約8億円が連結されたことが主な要因です。なお、当第3四半期連結会計期間については、89,217千円の営業利益となりました。

経常損益は、支払利息が減少したものの、上記営業損失の計上により、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ980,028千円減少し、753,153千円の経常損失となりました。また、当第3四半期連結会計期間においては、営業利益を計上したものの、GCG社及びその子会社の損失が持分法による投資損失として約3億円計上されたため、171,960千円の経常損失となりました。

四半期純損益は、当第3四半期連結累計期間において、496,472千円の純損失を計上し、当第3四半期連結会計期間においては108,198千円の純損失を計上致しました。

[セグメント別事業内容（平成20年12月31日）]



当第3四半期における事業セグメント別の売上高及び営業利益の概況については、以下のとおりです。

## ① コンテンツサービス

コンテンツサービスは、映像サービス、放送サービス、モバイルサービス及びその他サービスで構成されており、映画やドラマ等の映像作品の調達、テレビ番組の制作から、その作品の配給、販売、放送（委託放送事業）、更にブロードバンドや携帯電話向けの配信、及びCS放送視聴に関する独自の会員制サービスに至るまでの広範な事業を行っております。

売上高は、放送サービスにおいてCS放送サービス等の減収があったものの、株式会社釣りビジョンの増収や、映像サービスにおいてブロードメディア・スタジオ株式会社のビデオ製品等の増収により、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ0.2%減少し、6,028,561千円（前年同期は6,041,320千円）となりました。また、第3四半期連結会計期間においては、1,944,794千円となりました。

営業利益は、新たに開始したナショナル ジオグラフィック事業の立ち上げ費用が発生したことに加え、CS放送サービスの減益や、販売費及び一般管理費（間接費を含む）が増加したことも影響し、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ52.6%減少し400,198千円（前年同期は843,737千円）となりました。また、第3四半期連結会計期間においては、118,727千円となりました。

## ② 技術サービス

技術サービスでは、「ブロードメディア\*CDN」等のCDN（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク）サービス等の提供を行っております。なお、GCG社及びその子会社については、第2四半期連結会計期間末までの売上高及び損益が連結されております。

売上高は、CDNサービスの売上高が増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ14.7%増加し、1,061,168千円（前年同期は924,958千円）となりました。また、第3四半期連結会計期間においては、327,157千円となりました。

営業利益は、第2四半期連結会計期間末まで計上されたGCG社及びその子会社における損失を、CDNサービスにおける利益では補い切れず、当第3四半期連結累計期間においては、営業損失805,162千円（前年同期は595,713千円の営業損失）を計上致しました。また、第3四半期連結会計期間においては、CDNサービスの増益に加え、GCG社及びその子会社の損失が連結されなくなったことより、7,720千円の営業利益となりました。

## ③ ネットワーク営業

ネットワーク営業では、ソフトバンクBB株式会社とヤフー株式会社が提供するブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」及びソフトバンクモバイル株式会社が提供する携帯電話サービス等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、「Yahoo! BB」の販売件数及び携帯電話サービスの販売件数が共に減少したこと等により、当第3四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ38.3%減少し、2,010,660千円（前年同期は3,257,469千円）となりました。また、第3四半期連結会計期間においては、543,478千円となりました。

営業利益は、上記減収の影響により、当第3四半期連結累計期間においては、営業損失30,333千円（前年同期は31,516千円の営業利益）を計上致しました。第3四半期連結会計期間においては、営業損失37,230千円を計上致しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は9,835,231千円、純資産残高は6,074,054千円でした。

- 平成20年5月及び平成20年12月にSBIホールディングス株式会社を割当先とした第三者割当増資を行ったことにより、資本金は前連結会計年度末に比べて2,011,598千円、第2四半期連結会計期間末に比べて250,002千円増加致しました。資本剰余金は前連結会計年度末に比べて1,988,419千円、第2四半期連結会計期間末に比べて250,002千円増加致しました。
- 平成20年6月に前事業年度の期末配当を実施したこと、及び当第3四半期連結累計期間の四半期純損失により、利益剰余金は前連結会計年度末に比べて582,131千円、第2四半期連結会計期間末に比べて105,828千円減少致しました。
- 短期借入金は、前連結会計年度末に比べて3,901,942千円減少致しました。第2四半期連結会計期間末との比較では56,366千円増加致しました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

#### [連結業績予想]

当社は、平成20年10月30日に公表した平成21年3月期通期業績予想を下記の通り修正致しました。なお、個別業績予想は平成20年10月30日発表の予想を据え置きます。

#### 1. 平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	△100	△450	0	0.0
今回修正予想(B)	12,000	△350	△800	△650～0	△11.27～0.00
増減額(B-A)	—	△250	△350	△650～0	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成20年3月期)	13,851	296	240	△799	△22.71

#### 2. 修正の理由

売上高につきましては、前回発表の業績予想を据え置きます。

営業利益につきましては、第3四半期連結会計期間以降はGCG社及びその子会社が連結子会社から外れたこともあり、利益を計上できる見通しですが、ネットワーク営業部門及びコンテンツサービス部門（映画配給事業及びプロダクション事業）の利益が当初予想より伸びないと見込まれること等から、前回発表の業績予想を下回る見通しとなりました。

経常利益につきましては、前回発表の業績予想を下回る見通しとなりました。当社の経常利益は、GCG社の持分法投資損益の影響が大きく、持分比率の低下が無い場合、経常利益は悪化します。このような状況において、昨今の金融情勢に鑑み、GCG社による増資及び当社が保有する同社株式の売却による持分比率の低下時期を保守的に考え、持分法による投資損益の予想を見直したことが修正の要因です。

当期純利益につきましては、有価証券を含む、保有する資産の売却や価値の変動により、特別損益が大きく変動することが考えられるため、予想値を0百万円から純損失650百万円の範囲と致しました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

第1四半期連結会計期間より、ラテンドラマ共同事業体を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結会計期間においてGクラスタ・グローバル株式会社の株式の一部を売却したことにより、同社と同社の子会社であるOy Gamecluster Ltd.及びG-cluster America, Inc.は持分法適用関連会社となりました。上記3社の財務諸表は第2四半期連結会計期間末まで連結しております。また、株式会社アリスネットの株式をすべて売却致しました。同社の損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書は当第3四半期連結会計期間末まで連結しておりますが、同社の貸借対照表は連結しておりません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日 内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

- ④ リース取引に関する会計基準等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,471,806	2,026,064
受取手形及び売掛金	1,780,435	2,331,353
商品及び製品	49,609	67,977
仕掛品	114,709	77,984
番組勘定	1,635,264	2,239,207
その他	503,267	517,849
貸倒引当金	△13,627	△24,291
流動資産合計	5,541,464	7,236,146
固定資産		
有形固定資産	286,091	263,209
無形固定資産		
のれん	219,306	489,702
その他	141,419	563,385
無形固定資産合計	360,725	1,053,087
投資その他の資産		
投資有価証券	3,217,851	2,881,700
その他	493,980	531,947
貸倒引当金	△64,882	△72,800
投資その他の資産合計	3,646,949	3,340,847
固定資産合計	4,293,766	4,657,144
資産合計	9,835,231	11,893,290

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,113,327	1,277,847
短期借入金	1,500,860	5,402,803
未払法人税等	37,658	81,761
賞与引当金	44,658	116,761
その他	845,672	1,022,276
流動負債合計	3,542,175	7,901,449
固定負債		
退職給付引当金	23,114	18,540
役員退職慰労引当金	50,333	45,666
その他	145,552	86,667
固定負債合計	219,000	150,873
負債合計	3,761,176	8,052,323
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,666,633	655,035
資本剰余金	2,270,490	282,071
利益剰余金	626,766	1,208,898
自己株式	△300	△289
株主資本合計	5,563,590	2,145,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,940	△344
為替換算調整勘定	7,926	3,666
評価・換算差額等合計	78,866	3,322
少数株主持分	431,596	1,691,929
純資産合計	6,074,054	3,840,966
負債純資産合計	9,835,231	11,893,290

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	9,100,390
売上原価	5,757,474
売上総利益	3,342,916
販売費及び一般管理費	3,778,213
営業損失(△)	△435,297
営業外収益	
受取利息	8,007
受取配当金	26
為替差益	19,296
持分法による投資利益	57,585
その他	8,525
営業外収益合計	93,442
営業外費用	
支払利息	52,742
持分法による投資損失	336,513
株式交付費	18,053
その他	3,989
営業外費用合計	411,298
経常損失(△)	△753,153
特別利益	
投資有価証券売却益	232,111
貸倒引当金戻入額	1,010
その他	6,709
特別利益合計	239,831
特別損失	
固定資産除却損	66,057
投資有価証券売却損	7,456
投資有価証券評価損	6,998
たな卸資産評価損	12,650
減損損失	25,197
貸倒引当金繰入額	60,000
その他	7,204
特別損失合計	185,565
税金等調整前四半期純損失(△)	△698,888
法人税、住民税及び事業税	95,793
法人税等調整額	88,083
法人税等合計	183,877
少数株主損失(△)	△386,293
四半期純損失(△)	△496,472



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	2,815,430
売上原価	1,681,243
売上総利益	1,134,187
販売費及び一般管理費	1,044,969
営業利益	89,217
営業外収益	
受取利息	284
受取配当金	5
為替差益	33,214
持分法による投資利益	20,582
その他	1,080
営業外収益合計	55,167
営業外費用	
支払利息	11,248
持分法による投資損失	303,332
株式交付費	1,750
その他	14
営業外費用合計	316,345
経常損失(△)	△171,960
特別利益	
投資有価証券売却益	208,877
貸倒引当金戻入額	118
その他	3,719
特別利益合計	212,715
特別損失	
固定資産除却損	396
投資有価証券売却損	7,456
投資有価証券評価損	325
貸倒引当金繰入額	60,000
その他	6,720
特別損失合計	74,899
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,144
法人税、住民税及び事業税	△39,098
法人税等調整額	88,767
法人税等合計	49,669
少数株主利益	24,384
四半期純損失(△)	△108,198

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△698,888
減価償却費	180,252
減損損失	25,197
のれん償却額	136,782
貸倒引当金の増減額(△は減少)	45,961
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,045
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,666
受取利息及び受取配当金	△8,034
支払利息	52,742
持分法による投資損益(△は益)	278,927
投資有価証券売却損益(△は益)	△224,654
投資有価証券評価損益(△は益)	6,998
固定資産除却損	66,057
株式交付費	18,053
売上債権の増減額(△は増加)	545,386
たな卸資産の増減額(△は増加)	508,577
仕入債務の増減額(△は減少)	△156,378
未払又は未収消費税等の増減額	△9,075
その他の資産・負債の増減額	△46,393
その他	18,262
小計	733,394
利息及び配当金の受取額	15,994
利息の支払額	△46,952
法人税等の支払額	△139,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	562,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△393,344
投資有価証券の取得による支出	△10,000
投資有価証券の売却による収入	263,750
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	8,332
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△214,999
子会社株式の取得による支出	△200,336
定期預金の払戻による収入	61,705
出資金の払込による支出	△25,000
出資金の回収による収入	413
貸付けによる支出	△42,500
貸付金の回収による収入	2,178
差入保証金の差入による支出	△37,472
差入保証金の回収による収入	5,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△581,739

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,385,741
株式の発行による収入	3,981,963
社債の償還による支出	△2,000
自己株式の取得による支出	△6
配当金の支払額	△87,282
その他	10,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,758
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△504,081
現金及び現金同等物の期首残高	1,975,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,471,806

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:千円)

	コンテンツサービス	技術サービス	ネットワーク営業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	6,028,561	1,061,168	2,010,660	9,100,390	—	9,100,390
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,028,561	1,061,168	2,010,660	9,100,390	—	9,100,390
営業利益又は 営業損失(△)	400,198	△805,162	△30,333	△435,297	—	△435,297

(注) 1 事業区分の方法

事業は、当社が顧客に対して提供するサービスの類似性に基づき、投入する経営資源の単位を勘案し区分しております。

2 各区分に属する主要なサービス

事業区分	主要な商品・製品及びサービス
コンテンツサービス	ブロードバンド及び携帯向けのコンテンツ配信 映画及びテレビ局向けコンテンツの配給 字幕・吹替等の制作 CS放送及びCATV向けの番組制作及び放映 CS放送関連サービス
技術サービス	コンテンツ・デリバリー・ネットワーク・サービスの提供等
ネットワーク営業	「Yahoo!BB」サービスの加入勧誘及び申込取次 携帯電話サービスの加入勧誘、申込取次及び携帯電話端末の販売代理店業務

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

売上高に占める本邦の売上高の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年5月16日付けで、SBIホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込みを受けたことにより資本金が1,761,596千円、資本準備金が1,738,417千円増加致しました。

また、平成20年12月29日付けで、SBIホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込みを受けたことにより資本金が250,002千円、資本準備金が250,002千円増加致しました。当第3四半期連結会計期間末における資本金は2,666,633千円、資本準備金は2,270,490千円であります。

## (7) 重要な後発事象

## (1) 極度貸付契約の締結及び貸付の実行

当社は、平成20年12月26日開催の取締役会において、Gクラスタ・グローバル株式会社と極度貸付契約を締結することを決議し、平成21年1月8日及び平成21年1月20日に、同社に対して当該契約に基づく貸付を実行致しました。当該契約の概要は以下のとおりであります。

① 貸付の目的・用途	事業資金の短期貸付
② 契約日	平成20年12月29日
③ 契約終了日	平成21年3月31日
④ 契約極度額	85,000千円
⑤ 利率	当社の資金調達条件を勘案して決定している。
⑥ 弁済期日	平成21年3月31日
⑦ その他	Gクラスタ・グローバル株式会社は申し出により全部または一部を期限前に弁済することができる。

なお、発表日現在の、当該契約に基づく貸付残高は85,000千円であります。

上記に加えて、当社は、平成21年1月30日開催の取締役会において、Gクラスタ・グローバル株式会社と極度貸付契約を締結することを決議致しました。当該契約の概要は以下のとおりであります。

① 貸付の目的・用途	事業資金の短期貸付
② 契約日	平成21年1月30日
③ 契約終了日	平成21年3月31日
④ 契約極度額	95,000千円
⑤ 利率	当社の資金調達条件を勘案して決定している。
⑥ 弁済期日	平成21年3月31日
⑦ その他	Gクラスタ・グローバル株式会社は申し出により全部または一部を期限前に弁済することができる。

なお、発表日現在、当該契約に基づく貸付の実行はありません。

## (2) 金融機関への担保提供

当社は、平成20年11月28日開催の取締役会において、金融機関からの短期借入金について、借換え及び新規借入を行うこと、並びに借入の根担保として投資有価証券を提供することを決議致しました。このたび、金融機関において、株券電子化に伴う担保受入体制が整いましたので、次の物件について平成21年1月27日付で担保提供を行っております。

投資有価証券 563百万円

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	10,223,748
II 売上原価	6,681,978
売上総利益	3,541,769
III 販売費及び一般管理費	3,262,229
営業利益	279,540
IV 営業外収益	78,289
1 受取利息	2,817
2 受取配当金	10
3 為替差益	17,301
4 持分法による投資利益	40,866
5 その他	17,293
V 営業外費用	130,954
1 支払利息	77,464
2 持分法による投資損失	49,878
3 出資金組合損益分配損	3,272
4 その他	339
経常利益	226,874
VI 特別損失	102,872
1 固定資産除却損	2,047
2 投資有価証券評価損	99,999
3 その他	825
税金等調整前四半期純利益	124,001
法人税等	107,439
少数株主利益	25,821
四半期純利益	△9,258

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	124,001
2 減価償却費	184,272
3 のれん償却額	156,082
4 貸倒引当金の増加額	2,232
5 賞与引当金の減少額	△53,336
6 退職給付引当金の増加額	3,195
7 役員退職慰労引当金の減少額	△12,291
8 受取利息及び受取配当金	△2,827
9 支払利息	77,464
10 持分法による投資損益	9,011
11 固定資産除却損	2,047
12 投資有価証券評価損	99,999
13 出資金組合損益分配損益	3,272
14 売上債権の減少額	496,420
15 棚卸資産の増加額	△569,242
16 仕入債務の減少額	△556,215
17 未払消費税等の減少額	△54,690
18 その他	△70,253
小計	△160,857
19 利息及び配当金の受取額	13,346
20 利息の支払額	△82,074
21 法人税等の支払額	△112,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	△341,647
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 固定資産取得による支出	△259,418
2 投資有価証券の取得による支出	△3,355,061
3 出資金の減少による収入	1,950
4 貸付による支出	△144,613
5 貸付金回収による収入	1,304
6 差入保証金の差入による支出	△12,839
7 差入保証金の受入による収入	8,881
8 その他	△4,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,763,879

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の増加額	4,050,000
2 長期借入金の返済による支出	△2,699
3 新株発行による収入	745
4 配当金の支払額	△174,824
5 その他	△10,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,862,496
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,090
Ⅴ 現金及び現金同等物の減少額	△241,939
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	914,771
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	672,831



## (3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

（単位：千円）

	コンテンツ サービス	技術サービス	ネットワーク 営業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	6,041,320	924,958	3,257,469	10,223,748	—	10,223,748
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,041,320	924,958	3,257,469	10,223,748	—	10,223,748
営業利益又は 営業損失(△)	843,737	△595,713	31,516	279,540	—	279,540

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

売上高に占める本邦の売上高の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

〔海外売上高〕

前年同四半期（平成20年3月期第3四半期）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載は省略しております。